

令和6年度尾道市総合教育会議

令和6年12月25日（水）

教育指導課

議題 教育（学校・地域・社会）とウェルビーイング

（1）学校教育 ～知・徳・体 バランスの取れた子どもの育成～

○本市の子どもたちの現状（ウェルビーイングに関連する主観的指標） ※詳細は別紙資料参照

令和6年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙から【小学校、中学校】

- ① 自分にはよいところがあると思う【86.6、81.6】
- ② 将来の夢や目標をもっている【86.3、66.5】
- ③ 授業の内容がよく分かる【国語 88.3、78.9】【算数・数学 81.3、80.7】
- ④ 勉強は好きと思う【国語 66.4、56.1】【算数・数学 60.3、61.4】【理科 86.5、66.2】
- ⑤ 自分の幸福感（普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある）【92.9、89.8】
- ⑥ 友人関係の満足度【91.2、89.3】
- ⑦ 自分と違う意見について考えるのは楽しい【79.7、77.5】
- ⑧ 人が困っているときは進んで助けている【92.3、86.3】
- ⑨ 学級をよくするために互いの意見の良さを生かして解決方法を決める【84.1、85.2】
- ⑩ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う【86.5、79.3】
- ⑪ 先生は自分のいいところを認めてくれる【94.0、90.5】
- ⑫ 困りごとや不安があるときに先生や学校にいる大人にいつでも相談できる【72.3、68.0】

○今年度の主な取組

- ・学級集団づくりを基盤とした、5つの重点取組を意識した「分かる授業」の実施
重点取組：「ゴールの明確化」「達成意欲を喚起させる課題設定の工夫」「じっくり考えさせる活動」「タブレットを使った協働的な学び」「振り返りの充実」
- ・学力不振に対応するため、学習の基盤となる低学年の指導の充実、読書活動の充実
- ・集団への不適應に対応するため、集団づくり、絆づくり、魅力ある学校づくり
- ・児童生徒主体の学校行事の実施、ふるさと学習や職場体験学習の充実

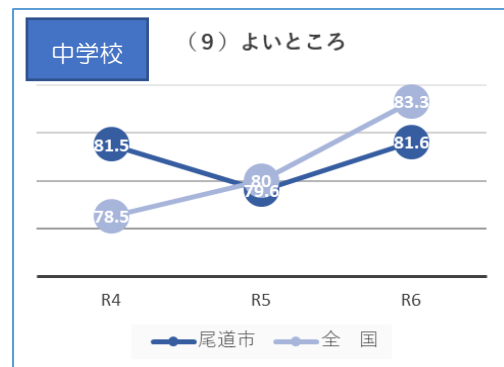
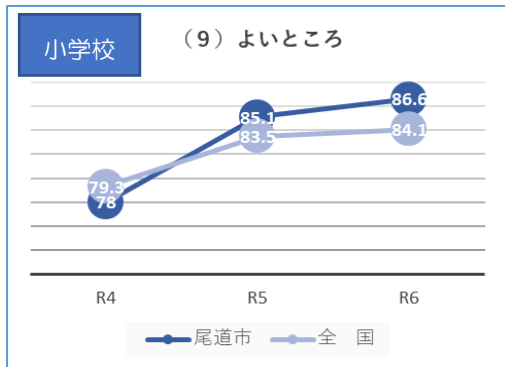
○尾道教育総合推進計画 4年目の重点取組

「自己肯定感、自己実現、人とのつながり、社会貢献意識」＋生きる力の土台となる「心身の健康」

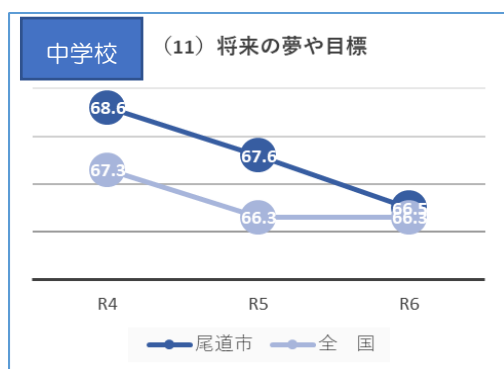
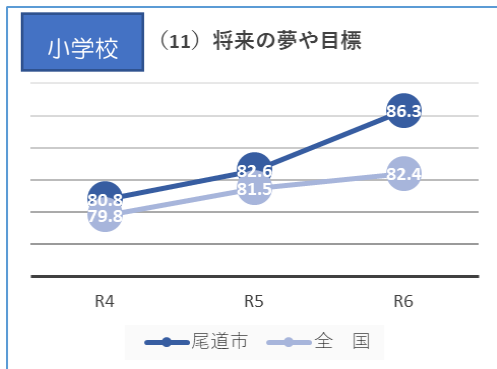
- ・学級集団づくりを基盤とした「分かる授業」の実施
「選択肢と自己決定のある協働的な学び」「振り返り（学び方を意識）」を重視した授業改善
- ・不登校支援の充実
校内教育支援センターの設置と授業アシスタントの配置の拡充による安全・安心な居場所の確保
- ・「グローバル・ローカル・尾道らしさ」推進事業
「グローバル編」は2年目、「ローカル編」は初年度の取組を実施
- ・食育の充実
- ・体力づくりの取組

本市の子どもたちの現状（ウェルビーイングに関連する主観的指標）

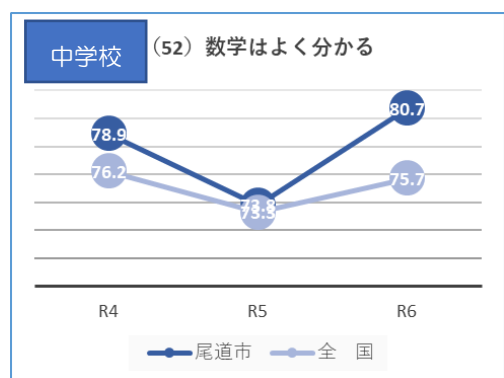
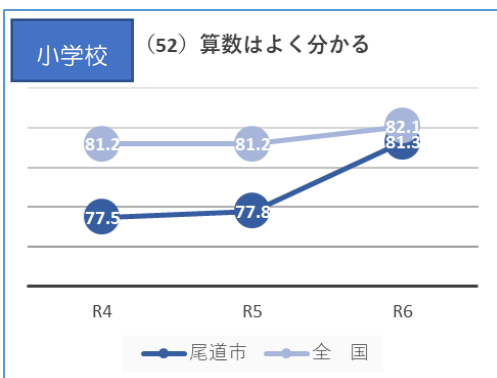
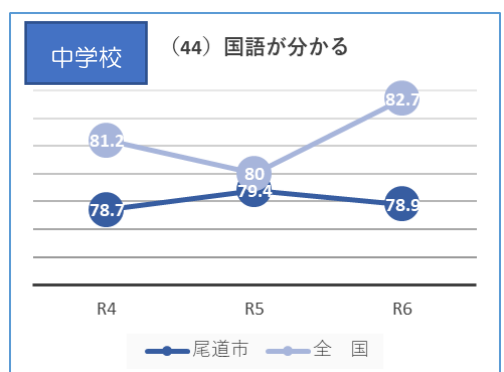
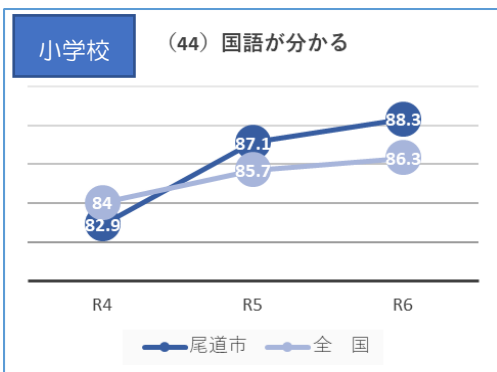
①自分にはよいところがあると思う



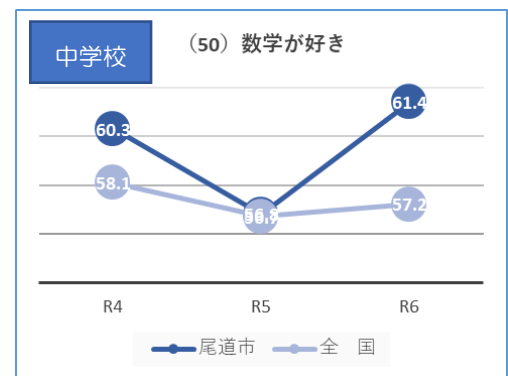
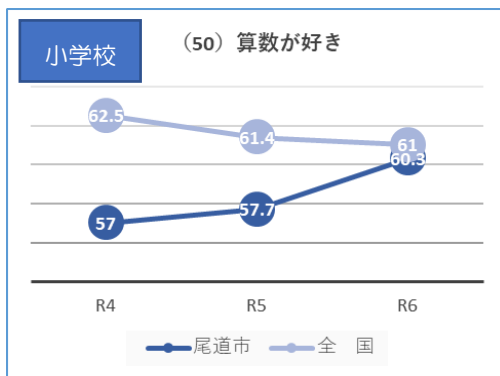
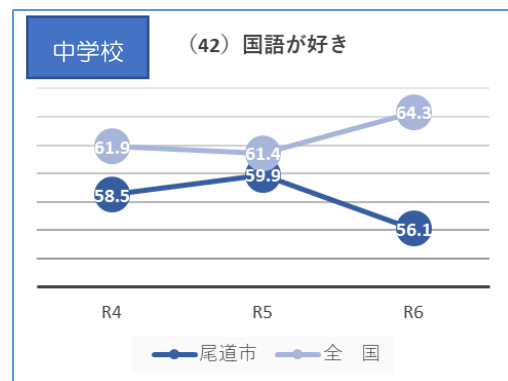
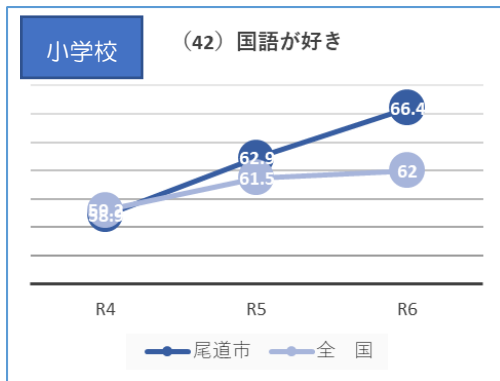
②将来の夢や目標をもっている



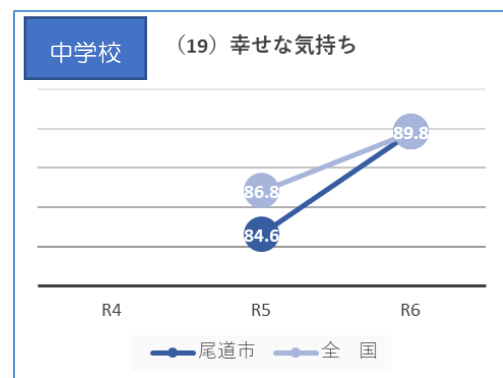
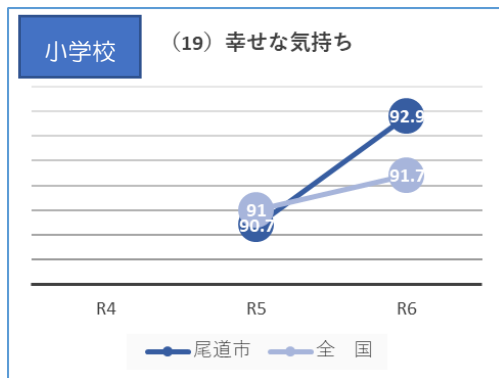
③授業の内容がよく分かる



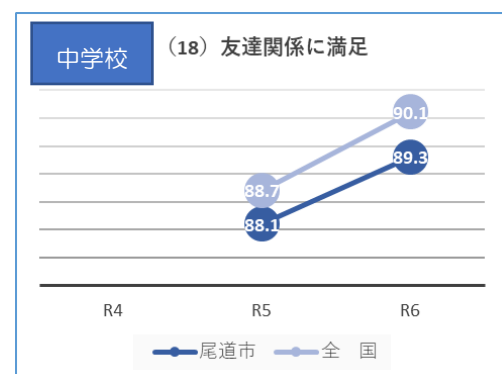
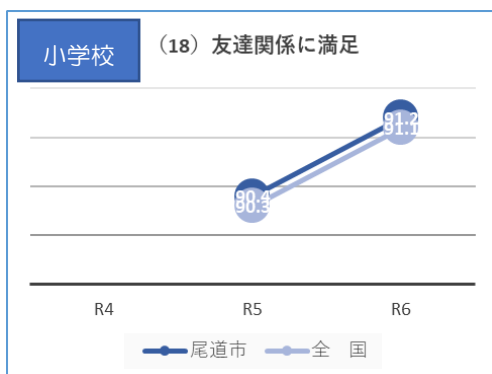
④勉強は好きと思う。



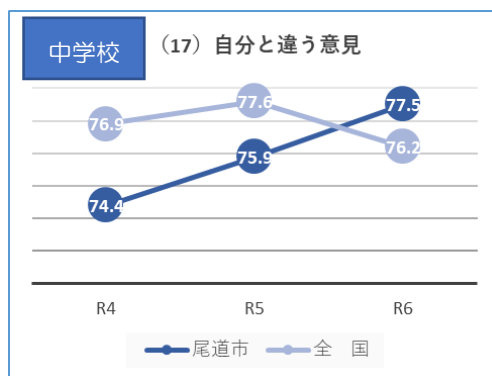
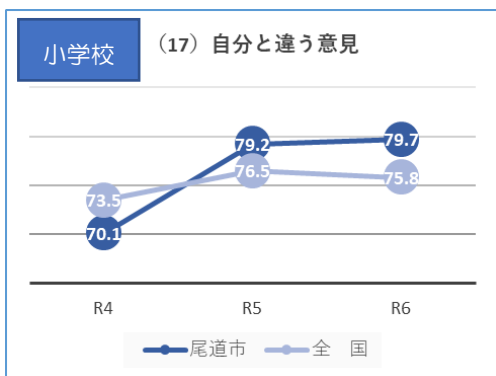
⑤自分の幸福感（普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある）



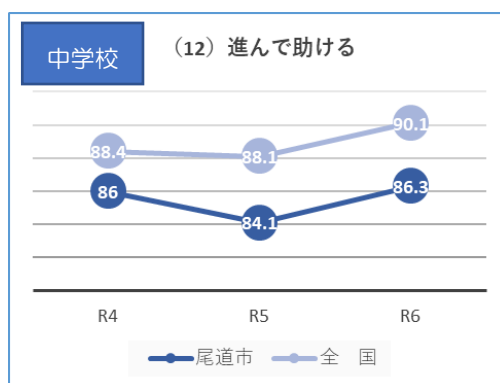
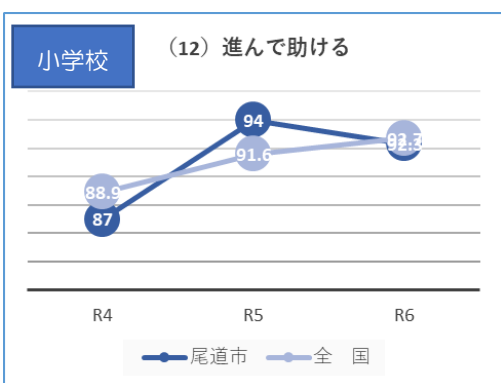
⑥友人関係の満足度



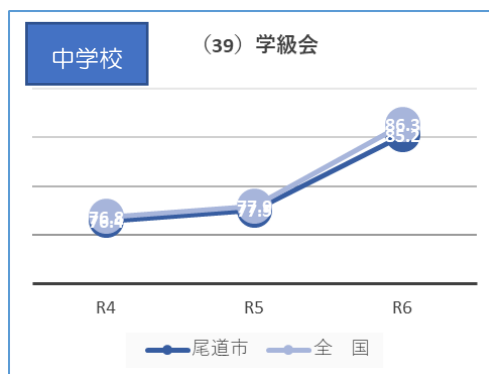
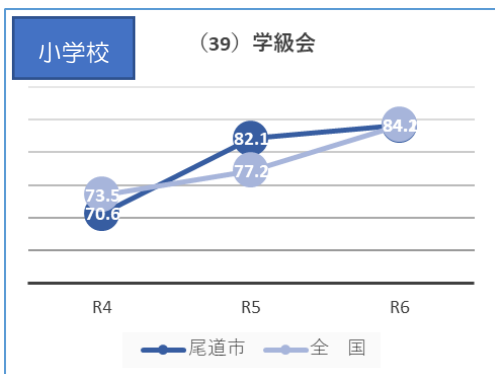
⑦自分と違う意見について考えるのは楽しい



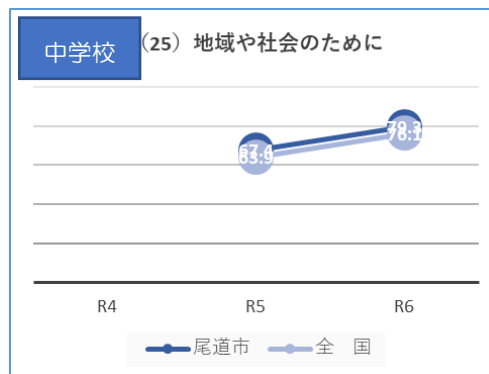
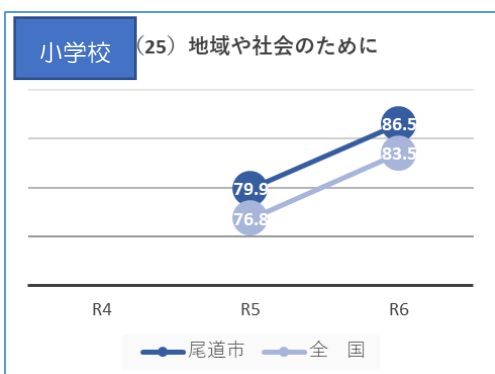
⑧人が困っているときは進んで助けている



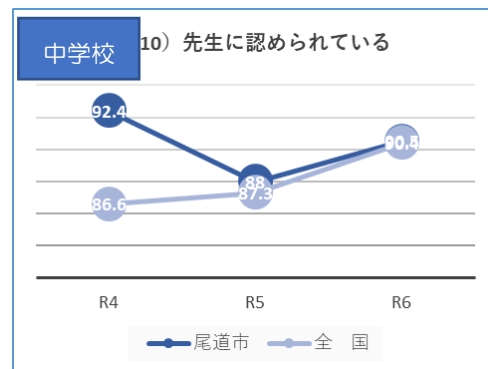
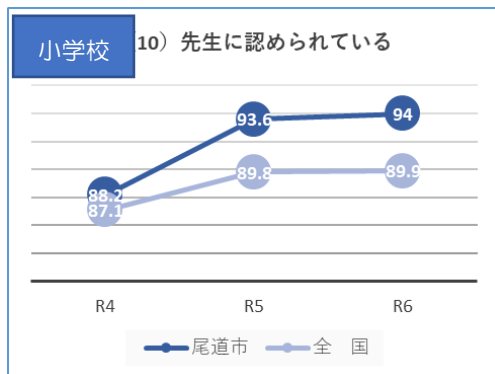
⑨学級をよくするために互いの意見の良さを生かして解決方法を決める



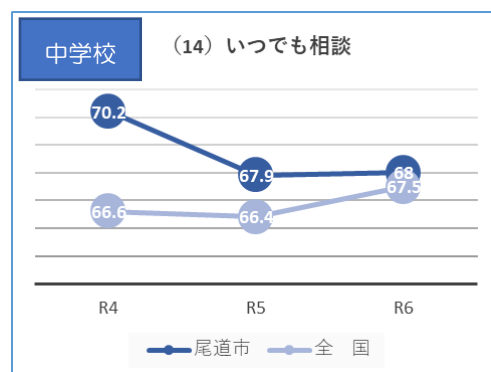
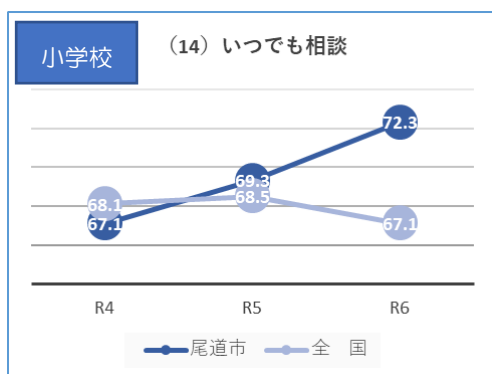
⑩地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う



⑪先生は自分のいいところを認めてくれる



⑫困りごとや不安があるときに先生や学校にいる大人にいつでも相談できる



本市の子どもたちの現状（学力）

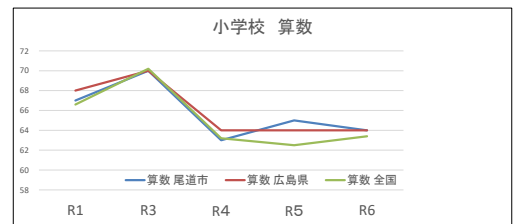
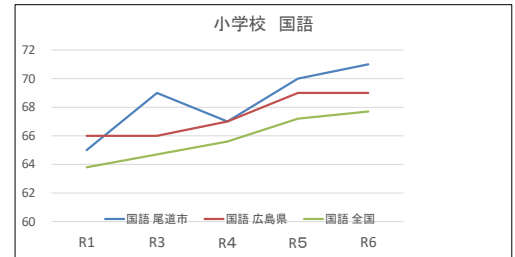
資料1-3

○全国学力・学習状況調査結果から

【小学校】

	国語		
	尾道市	広島県	全国
R1	65	66	63.8
R3	69	66	64.7
R4	67	67	65.6
R5	70	69	67.2
R6	71	69	67.7

	算数		
	尾道市	広島県	全国
R1	67	68	66.6
R3	70	70	70.2
R4	63	64	63.2
R5	65	64	62.5
R6	64	64	63.4

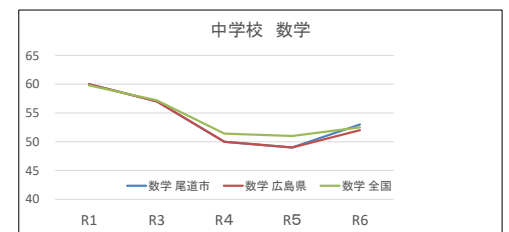
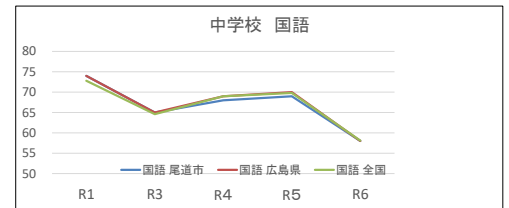


※平成29年度より、県や市の正答率は整数値で公表されています。

【中学校】

	国語		
	尾道市	広島県	全国
R1	74	74	72.8
R3	65	65	64.6
R4	68	69	69.0
R5	69	70	69.8
R6	58	58	58.1

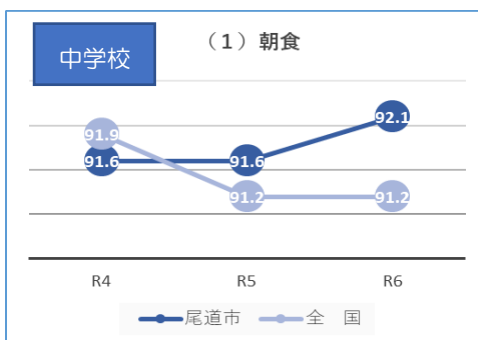
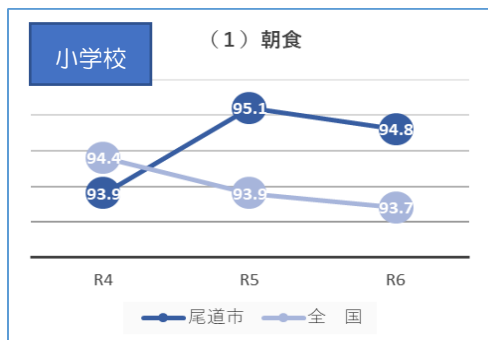
	数学		
	尾道市	広島県	全国
R1	60	60	59.8
R3	57	57	57.2
R4	50	50	51.4
R5	49	49	51.0
R6	53	52	52.5



本市の子どもたちの現状（朝食・体力）

(1) 朝食について

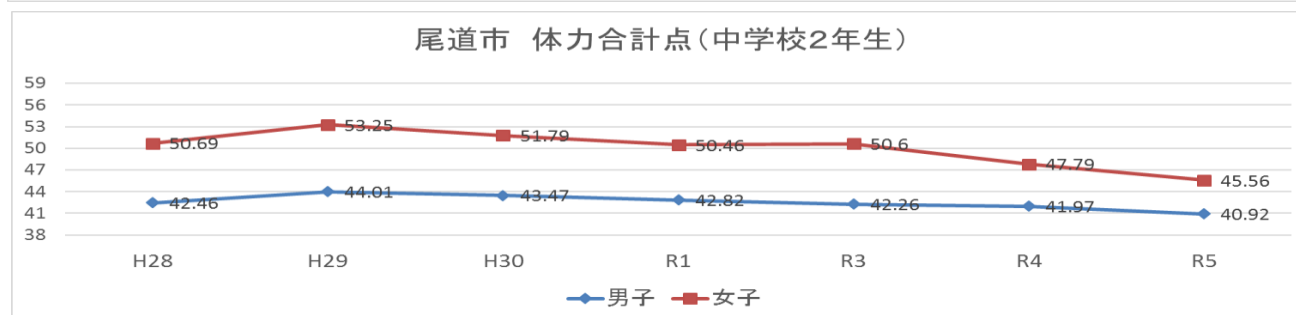
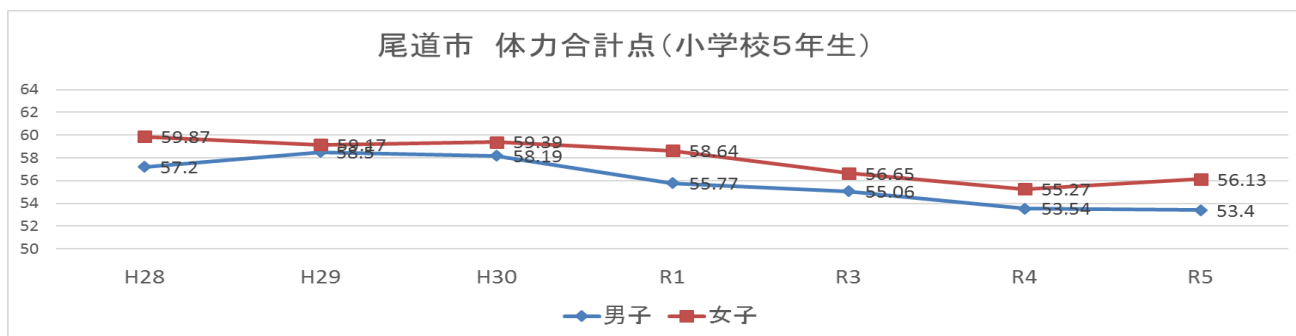
○朝食を毎日食べていますか。（令和6年度 全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙から）



○学校の取組事例

- ・栄養教諭による食育指導、給食だよりの発行、校内放送（小・中学校ともに多数）
- ・生活習慣カードを学期に1回2週間程度設定し、保護者とともに取り組む。（土堂小、山波小等）
- ・保護者を対象にした給食試食会后に、栄養職員による食に関する指導を実施（栗原小、美木原小）
- ・給食料理教室・親子クッキングの実施（向東小）

(2) 体力について



（「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」より R6分は12月末に公表）

○学校の取組事例

- ・サーキットトレーニングを行う。（土堂小、向東小等 小学校6校）
- ・学級レクや全体レク、体育朝会や業間体育等、全員で体を動かす取り組みを行う。（小学校多数）
- ・握力、柔軟性等、課題を決めてその克服のための運動を行う。（小・中学校ともに多数）
- ・昼休憩の外遊びを推奨し、ボールの貸し出しを行う。（久保中、長江中等 中学校9校）
- ・中学校教諭が専門性を生かし、小学校へ出前授業を行う。（因島南中）

尾道市の不登校支援の概要

教育指導課

1 不登校児童生徒の現状について

	不登校児童生徒数	関係機関と連携されていない児童生徒数（30日を超えた時点）
令和4年度	小学校 119人(2.0%) 中学校 193人(6.6%)	小学校 71人(59.7%) 中学校 130人(67.4%)
令和5年度	小学校 151人(2.6%) 中学校 215人(7.3%)	小学校 106人(70.2%) 中学校 144人(67.0%)

2 不登校支援について

尾道教育総合推進計画	文部科学省 COCOLO プラン
豊かな心の育成：不登校児童生徒の教育機会の確保	誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策
「児童生徒8300人とつながり続ける」 児童生徒一人一人とつながっていますか？ 児童生徒や保護者の思いや願いを把握していますか？	

○「未然防止」「初期対応」「事後対応」の3つの視点を大切にした不登校支援（令和6年度新規 、拡充 ）

未然防止の視点	初期対応の視点	事後対応の視点
学校が安全・安心して登校できる場所 SOSを出しやすい教育相談体制の確立 「魅力のある学校」「分かりやすい授業」 ・「学びの変革」推進協議会 ・小学校2年生担任研修会 ・学校環境適応感尺度（アセス）の実施 ・COCORONOMICHI相談コーナー開設 ・学習支援講師小学校4校に配置（市） ・生徒指導主事研修会	休み始めた段階での実態把握 保護者との連携・協働による支援 ・ <u>尾道市教育相談・不登校支援ガイド作成</u> ・関係機関との連携（市役所各課、子ども家庭センター、保健・医療機関、教育支援センター、SC、SSW等） ・教育相談コーディネーター研修会 ・タブレット端末を活用した授業配信等	将来の社会的自立に向けた支援 居場所づくりによる支援 ・教育支援センター（さくら、はっさく） 相談員さくら3人、はっさく2人 ・教育相談連絡協議会（毎月開催） ・自然体験活動（年3回） ・得意なこと一緒にやりましょう（年3回） ・企業とコラボした体験活動（年12回） ・県SSR設置 中学校4校、 <u>小学校1校</u> ・校内SSR設置8校（ <u>その内授業アシスタント4校に配置</u> ） ・SSW3人（県） <u>5人（市）</u>

令和5年度までの「尾道市の不登校児童生徒数」

小学校		不登校の割合 (%)			中学校		不登校の割合 (%)		
区分	尾道市 (人)	尾道市	広島県	全国	区分	尾道市 (人)	尾道市	広島県	全国
平成25年度	38	0.6	0.4	0.4	平成25年度	117	3.5	2.5	2.7
平成26年度	47	0.7	0.5	0.4	平成26年度	121	3.6	2.5	2.8
平成27年度	46	0.7	0.5	0.4	平成27年度	105	3.1	2.6	2.8
平成28年度	42	0.7	0.5	0.5	平成28年度	91	2.7	2.6	3.0
平成29年度	43	0.7	0.6	0.5	平成29年度	97	3.0	2.8	3.3
平成30年度	37	0.6	0.7	0.7	平成30年度	131	4.2	3.2	3.7
令和元年度	51	0.8	0.9	0.8	令和元年度	114	3.8	3.5	3.9
令和2年度	66	1.1	1.1	1.0	令和2年度	116	4.0	3.7	4.1
令和3年度	83	1.4	1.4	1.3	令和3年度	134	4.5	4.9	5.0
令和4年度	119	2.0	1.9	1.7	令和4年度	193	6.6	6.1	6.0
令和5年度	151	2.6	2.4	2.1	令和5年度	215	7.3	7.0	6.7

※不登校の割合（小数第2位を四捨五入した数値です）

尾道市の割合については、各学校からの諸課題の報告に基づいており、

広島県・全国の割合については「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について」に基づいている。

学校における働き方改革について

資料2-1 2-2

R6.12.25
学校経営企画課

これまでの取組状況

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
方針の策定		「学校における働き方改革取組方針」策定（10月） 「運動部活動の方針」策定（10月）	「文化部活動の方針」策定（8月）	尾道市立学校の教育職員の在校等時間の上限等に関する方針」策定（4月）	「学校における働き方改革取組方針」改訂（R4.3月）			
時間外勤務時間状況	80時間超割合（％）	16.2%	7.2%	5.0%	6.0%	6.6%	6.6%	5.4%
	45時間以内割合（％）	21.4%	30.6%	42.0%	45.3%	39.5%	40.9%	47.5%
	時間外勤務平均	61h03m	54h22m	49h21m	49h28m	50h27m	50h55m	47h09m
児童生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教員の割合		66.2%	68.9%	80.1%	80.1%	78.0%	79.5%	81.3%

※時間外勤務時間状況及び学校における働き方改革アンケート「児童生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教員の割合」は、6月実施の結果による。